

# いわきFC 福島民友



将来のJリーグ入りを目指す  
いわきFC(県社会人サッカーリーグ2部)を運営する「いわきスポーツクラブ」(いわき市)と福島民友新聞社は20日、パートナー・シップ契約を締結した。2015(平成27)年12月に発足したいわきFCのオフィシャル・パートナーの第1号。福島民友新聞社は「スポーツを通じて社会を豊かにする」というクラブの理念に賛同、目標とするJ1昇格に向けて、相互協力のもと、共に歩みを進める。

▲ 契約式に臨んだ(左から)大倉社長、安田会長・CEO、五阿弥社長

# 公式パートナーに



## 契約締結式

はいわき市のドームいわきベースで行われた。いわきFCの親会社で、世界的なスポーツ用品メーカー「アンダーハーマー」(米国)の日本総代理店「ドーム」の安田秀一会長・CEO、同クラブの大倉智社長、福島民友新聞社の五阿弥宏安社長が出席。大倉社長と五

阿弥社長が契約書にサインし、安田会長・CEOも加わり、3者で握手を交わした。続いて、胸部に「福島民友」の社名ロゴが刻まれたクラブ公式練習ジャージーがお披露目された。片山紳、菊池将太、古山瑛翔、アンドレ・クルルの4選手選手たちはオフィシャル・パートナーの決定を受け、気持ちを新たに、Jリーグ入りに向けた闘志を燃やした。

いわきFCと福島民友新聞社は事業・プロモーションなどの分野で相互協力することで合意し、来年2月に完成するクラブハウス内に共同プロモーションルームを設置する。契約を実施していくことを明記し



お披露目されたジャージーなどを身に着けた(左から)片山紳、菊池将太、古山瑛翔、アンドレ・クルルの4選手



トナーの決定を受け、気持ちを新たに、Jリーグ入りに向けた闘志を燃やした。いわきFCと福島民友新聞社は事業・プロモーションなどの分野で相互協力することで合意し、来年2月に完成するクラブハウス内に共同プロモーションルームを設置する。契約を実施していくことを明記し